

最も高級で高額な  
オークションブランド



SHINWA ART AUCTION

2016年5月期 第2四半期

決算説明会資料

2016年1月19日開催

シンワアートオークション株式会社

JASDAQ : 2437

## 目次

<b>1</b>	2016年5月期 第2四半期決算の状況	P 3	<b>4</b>	中期経営計画進捗状況	P3 0
<b>2</b>	マーケット環境	P1 1	<b>5</b>	グループ事業戦略	P3 2
<b>3</b>	シンワとは	P1 7	<b>6</b>	2016年5月期 通期業績見込	P4 1

1

2016年5月期第2四半期  
決算の状況

## 1 大幅 増収増益

売上高：2倍強、営業利益：1.8億円増（対前年）

	2015年5月期2Q	→	2016年5月期2Q
売上高：	816百万円		1,726百万円
営業利益：△	12百万円		169百万円

（要因） 低圧型太陽光発電施設の販売が順調に推移  
穂北太陽光発電所を売却  
近代陶芸オークションを前倒しで実施

<通期> 上方修正 売上高：3,297百万円 営業利益：263百万円

## 2 エネルギー関連事業 大幅 増収増益

売上高：約5倍、セグメント利益：1.5億円増（対前年）

エーペック株式会社

**APEC**  
Asian Pacific Enlightening Corporation

	2015年5月期2Q	→	2016年5月期2Q
売上高：	239百万円		1,182百万円
セグメント利益：△	22万円		128百万円

## 3 医療機関向け支援事業

新たに**医療ツーリズム事業**を立ち上げ

シンワメディコ株式会社

SHiNWA MediCo

# 損益計算書 (PL)

SHINWA ART AUCTION

## 大幅 增收増益

(単位：百万円)

	2015年5月期 第2四半期実績		2016年5月期 第2四半期実績		
	金額		金額	増減額	増減率
売上高	816	↗	<b>1,726</b>	910	111.5%
売上高 オークション関連事業	576	↘	<b>543</b>	△33	△5.7
売上高 エネルギー関連事業	239	↗	<b>1,182</b>	943	393.8%
売上総利益	378	↗	<b>643</b>	265	69.8%
販売費及び 一般管理費	391	↗	<b>473</b>	82	21.2%
営業利益	△12	↗	<b>169</b>	181	—
セグメント利益 オークション関連事業	12	↗	<b>43</b>	31	238.3%
セグメント利益 エネルギー関連事業	△22	↗	<b>128</b>	150	—
経常利益	△15	↗	<b>160</b>	175	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△24	↗	<b>96</b>	121	—

## 事業別実績

SHINWA ART AUCTION

### オークション関連事業

取扱高： 2,172百万円 (前年比：△5.6%)  
 売上高： 543百万円 (前年比：△5.7%)  
 セグメント利益： 43百万円 (前年比：238.3%)

オークション開催：16回  
 (前年同期間：14回)

出品数：4,440点  
 (前年比：8.2%増)

単位：百万円	開催回数	取扱高 (前年比)	売上高 (前年比)	出品数	落札数 (落札率)	平均落札単価 前年比	E (注1)
近代美術オークション	3回	1,120 (△14.0%)	242 (△2.4%)	381 (△22.9%)	333 (87.4%)	2.2%	142.2%
近代陶芸オークション	3回	228 (122.4%)	47 (68.7%)	658 (44.6%)	616 (93.6%)	要因：例年12月上旬に開催 する近代陶芸オークション を11月下旬に開催	
近代美術PartII オークション	3回	176 (52.7%)	39 (39.0%)	994 (23.8%)	907 (91.2%)	21.6%	148.7%
その他オークション合計	7回	495 (△18.5%)	△97 (28.8%)	2,407 (2.4%)	1,544 (64.1%)	—	—
その他オークション ●Bags / Jewellery & Watchesオークション (3回) ●ワインオークション (1回) 前年同期間の実績を大きく上回る ●西洋美術オークション (1回) ●戦後美術&コンテンポラリーアートオークション (1回) ●特別オークション：木梨憲武オークション (1回)							
プライベートセール	—	111 (△5.1%)	89 (△17.2%)	—	—	—	—
その他	—	39 (△25.2%)	27 (4.6%)	—	—	—	—
合計	16回	2,172 (△5.6%)	543 (△5.7%)	4,440 (8.2%)	—	—	—

注1：Eはエスティメイト下限合計額に対する落札価額伸び率平均

## 事業別実績

SHINWA ART AUCTION

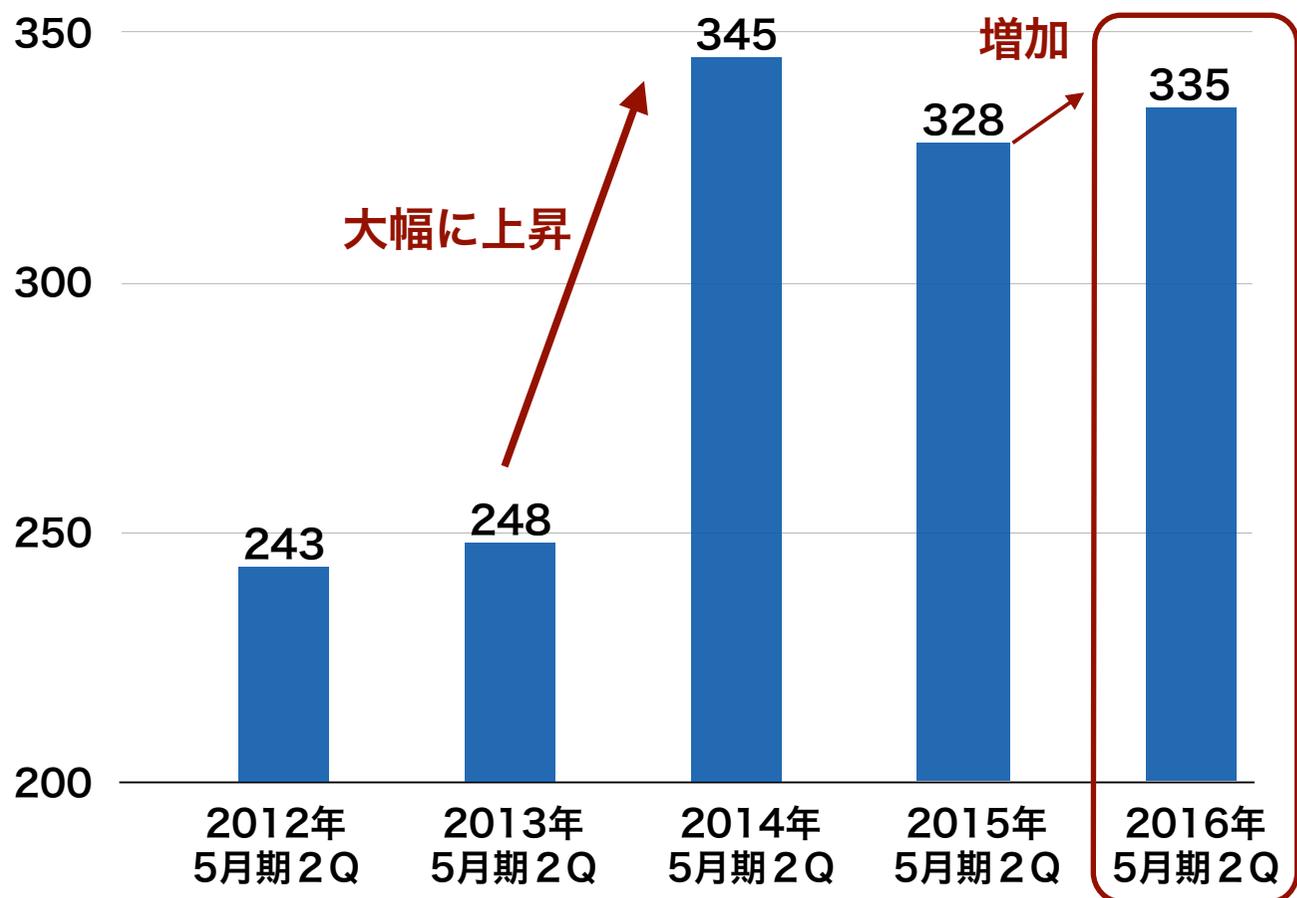
オークション関連事業

近代美術オークション

オークション業界にて  
圧倒的に高価格帯

平均落札価格

(単位：万円)



## 大幅 増収増益

売上高： **1,182百万円** (前年比：394%増)  
セグメント利益： **128百万円** (前年は22百万円の損失)

要因

- 1) 50kW級の低圧型太陽光発電施設：販売34基  
背景：6月下旬：生産性向上設備投資促進税制の適用目的の需要開始  
7月：対象の太陽光発電設備に経済産業省からの認可開始
- 2) 穂北太陽光発電所を売却
- 3) その他自社保有の太陽光発電施設による売電事業及び電力共同購買事業

医療機関向け支援事業

### 医療ツーリズム事業（新規）

日本を含めたアジアの富裕層に最先端の医療技術やより良い品質の医療サービスを紹介

現状：高度医療サービスや高度医療健診を提供する医療機関や提携医療機関等と折衝中  
医療コーディネーター業務、医療通訳養成講座を開始

※診療報酬債権ファクタリング事業は一旦凍結

## 貸借対照表 (BS)

(単位：百万円)

	2015年5月 第2四半期	2016年5月期 第2四半期	増減額
流動資産合計	2,709	<b>3,295</b>	585
固定資産合計	651	<b>392</b>	△260
資産合計	3,360	<b>3,687</b>	327
流動負債合計	1,318	<b>1,606</b>	288
固定負債合計	401	<b>379</b>	△22
負債合計	1,719	<b>1,985</b>	265
株主資本合計	1,631	<b>1,699</b>	67
純資産合計	1,640	<b>1,702</b>	61
負債・純資産合計	3,360	<b>3,687</b>	327

## キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2015年5月期 第2四半期	2016年5月期 第2四半期	増減額
	2014.6.1～ 2014.11.30	2015.6.1～ 2015.11.30	
営業活動CF	△178	<b>374</b>	552
投資活動CF	△131	△ <b>67</b>	64
財務活動CF	193	△ <b>264</b>	△457
現金及び現金同等物の四半期末残高	815	<b>1,012</b>	197

2

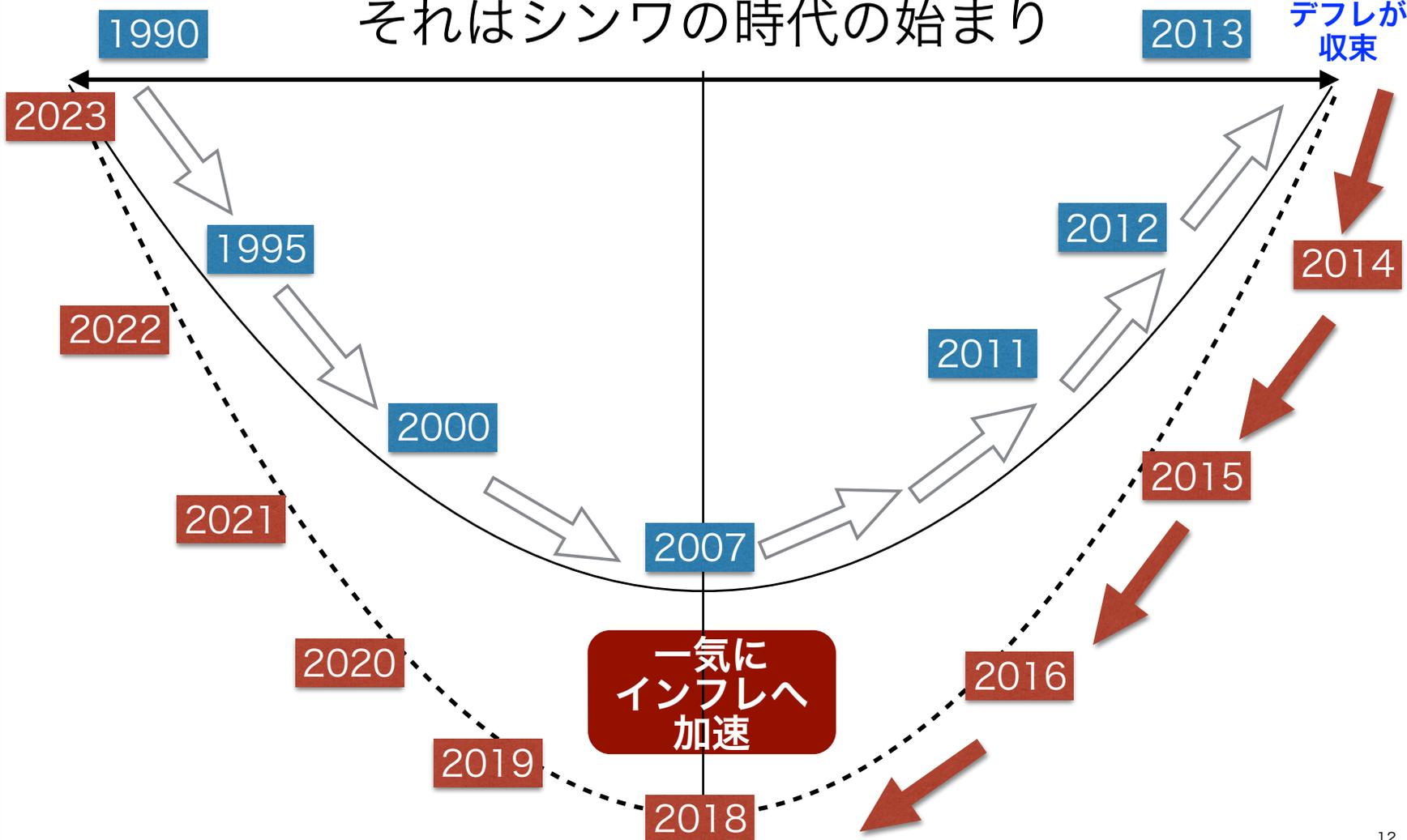
マーケット環境

インフレ

インフレへ

デフレ

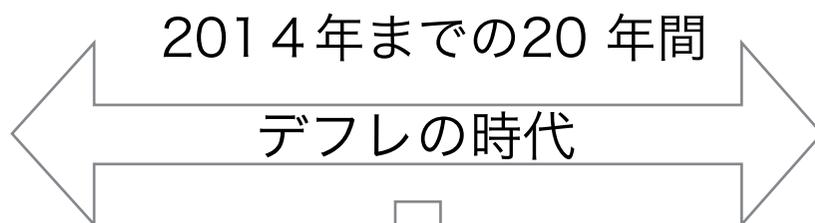
それはシンワの時代の始まり



マーケット環境

SHINWA ART AUCTION

これからは、インフレへ  
それはシンワの時代の始まり



値段が下がる

売り手

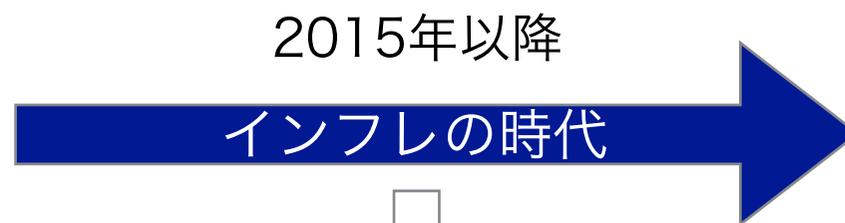
売らないでおこう

出品減少

買い手

買っても損

買い手減少



値段が上がる

売り手

やっと売れる  
時が来た

出品増加

買い手

また値段が  
上がる前に買おう

買い手増加

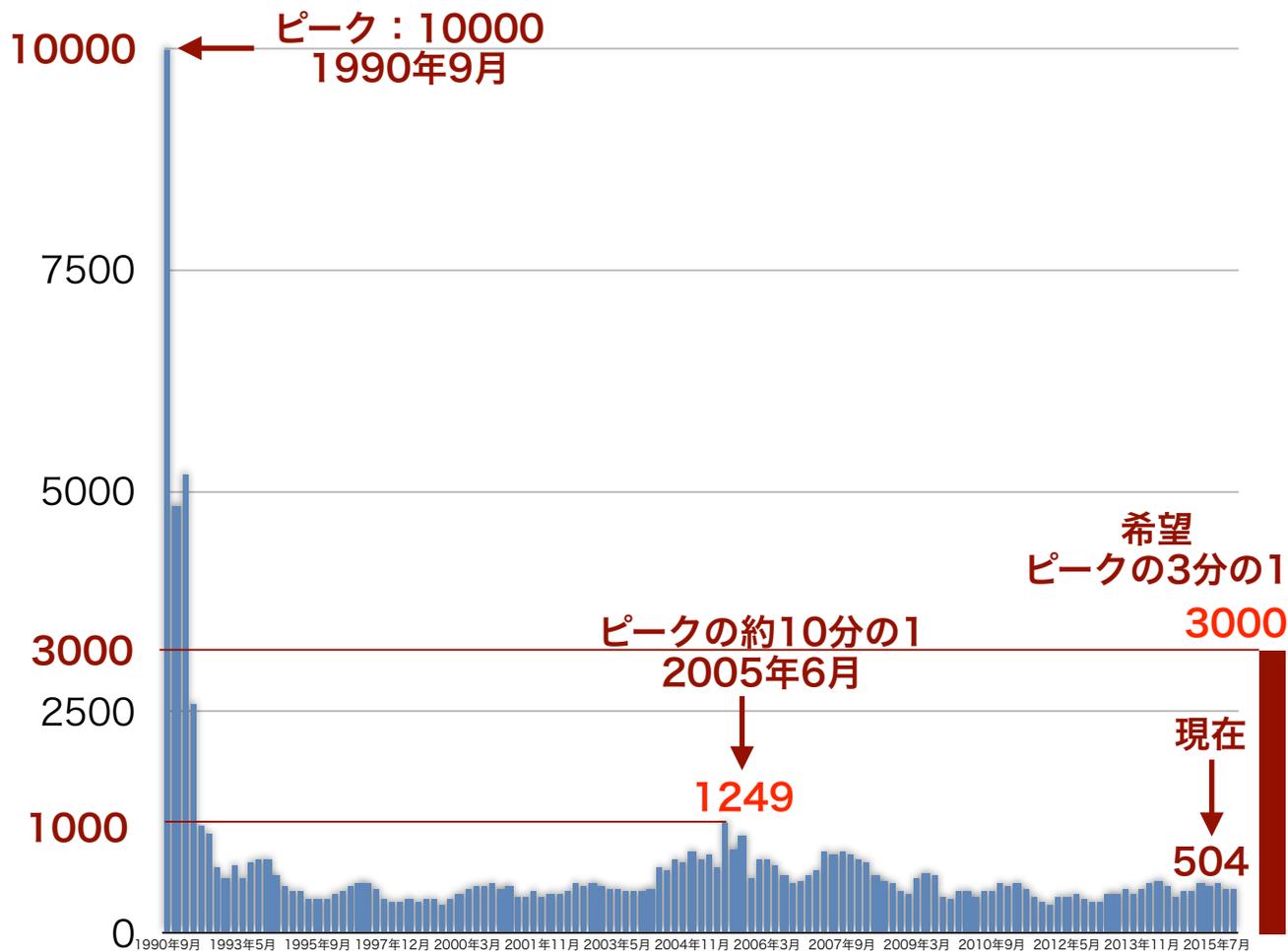
売上利益拡大

## マーケット環境

SHINWA ART AUCTION

## 近代美術オークション インデックス

過去のシンワアートオークション「近代美術オークション」において落札された作品について、1点あたり平均単価の過去3回分の平均を算出し、1990年9月開催の「近代美術オークション」を10,000としてインデックス化。



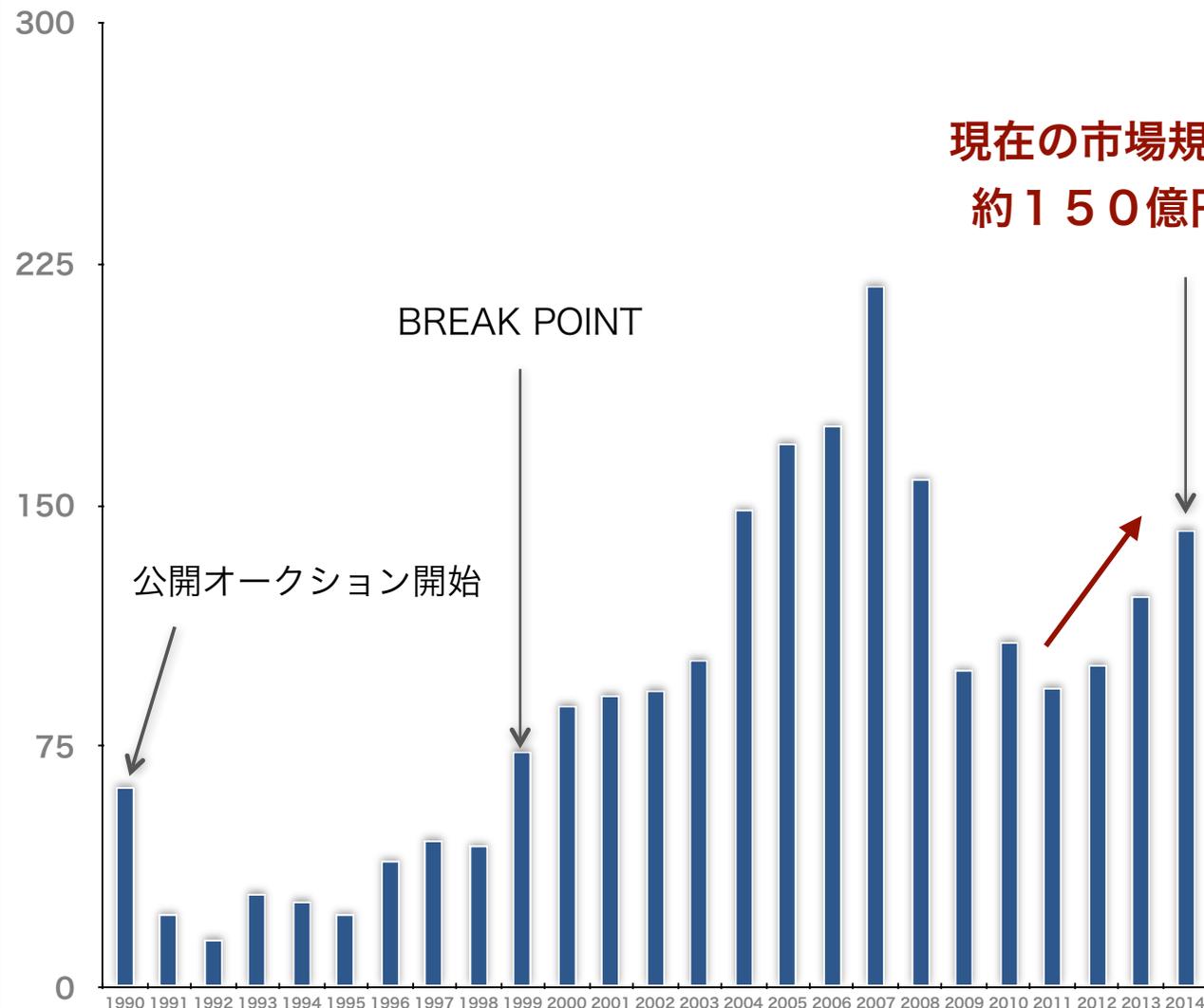
オークション開催年月	インデックス
1990年 9月	10,000
1992年 2月	1,216
1993年 2月	764
1994年 2月	818
1995年 3月	459
1996年 3月	429
1997年 3月	549
1998年 3月	338
1999年 6月	325
2000年 3月	489
2001年 7月	403
2002年 3月	445
2003年 2月	527
2004年 3月	741
2005年 6月	1249
2005年 9月	1098
2006年 9月	571
2007年11月	891
2008年 9月	560
2009年 3月	631
2010年 3月	482
2011年11月	357
2012年 2月	最小 318
2013年 7月	503
2014年 1月	572
2014年 3月	580
2014年 6月	525
2015年 3月	555
2015年 5月	520
2015年 7月	574
2015年 9月	504

# マーケット環境



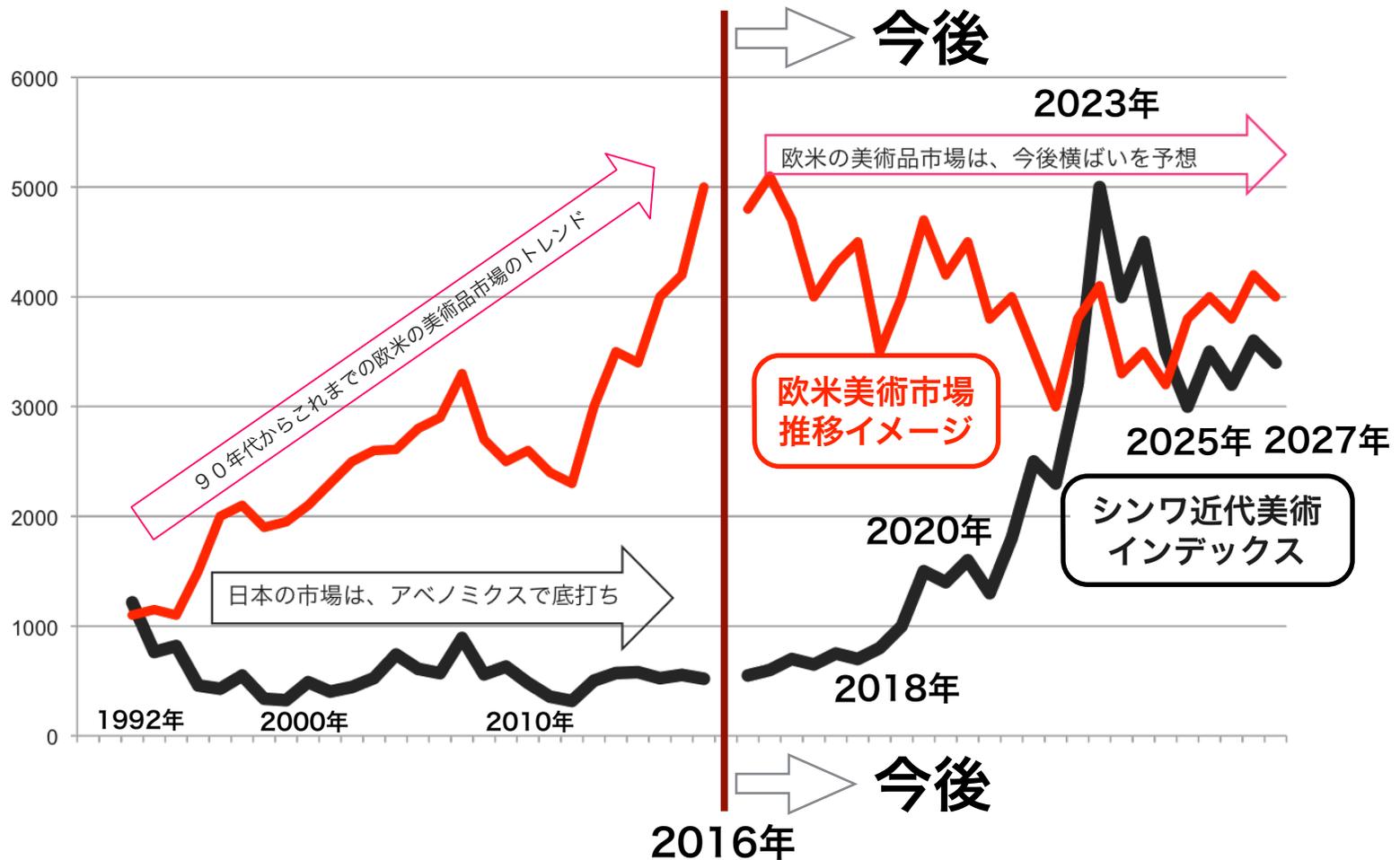
## 国内美術オークション市場の規模の推移

(単位：億円)



暦年	落札推移 (百万円)	前年比
1990年	6,256	-
1991年	2,300	-63.2%
1992年	1,479	-35.7%
1993年	2,945	99.1%
1994年	2,701	-8.3%
1995年	2,258	-16.4%
1996年	3,903	72.8%
1997年	4,549	16.5%
1998年	4,408	-3.1%
1999年	7,357	66.9%
2000年	8,765	19.1%
2001年	9,075	3.5%
2002年	9,211	1.5%
2003年	10,223	11.0%
2004年	14,857	45.3%
2005年	16,950	14.1%
2006年	17,426	2.8%
2007年	21,835	25.3%
2008年	15,774	-27.8%
2009年	9,903	-37.2%
2010年	10,777	8.8%
2011年	9,331	-13.4%
2012年	10,064	7.86%
2013年	12,276	21.9%
2014年	14,258	16.1%

日本の美術市場は、  
これまでインフレだった欧米の美術市場と  
同じことが起こるのか？



3

シンワとは

## シンワとは

総合  
アート から始まる 富裕層向け サービス  
カンパニー

知的資産

富裕層  
2万人を超えるデータベース

長年培った貴重なデータベースとマーケティング力

27年間培った2万人を超える富裕層（出品者・参加者）のデータベースを管理。  
蓄積された貴重なデータベース：高額作品と質の高い参加者（富裕層）

## ご存知でしたか？

従来の  
美術品取引

敷居が高い  
庶民には無縁の世界  
富裕層の脱税対策  
裏金作り、隠し財産  
仕組みがわからない  
参加の仕方もわからない  
値決めが不明

シ  
ン  
ワ

が  
変  
え  
ま  
し  
た  
！

シンワアート  
オークション

日本初、唯一の上場オークション企業であるシンワは、一般の人にはわかりづらかった美術品や高額品の公正な取引を実現、公開の場で誰もが納得して売買できるオークションを構築しました。

## ご存知でしたか？

市場シェア：No.1

約45%

高額落札作品(2,000万円以上)

平均落札価格

335万円

圧倒的高価格

オークション開催数

年間約30回開催

落札総額

約44億円/年

出品数

約7,000点/年

参加人数

約5,000人/年

## 特徴

特徴 ① **オークションをビジネス化** した先駆者

特徴 ② 日本の **近代美術** に強みと責任

特徴 ③ **上場** している唯一のオークション企業

特徴 ① **オークションをビジネス化** した先駆者 設立:1990年

一般の方が参加できる美術品の換金市場を日本に確立

<従来の美術品取引>

閉鎖的



**SHINWA ART AUCTION**  
**透明性**が高い

一般の方が参加できる。  
出品作品と落札価格の公開。

わかりにくい商習慣



**SHINWA ART AUCTION**  
**公正**な取引

透明性の高いオークションシステム、高額商品がパブリックな市場で取引

わかりにくい価格形成



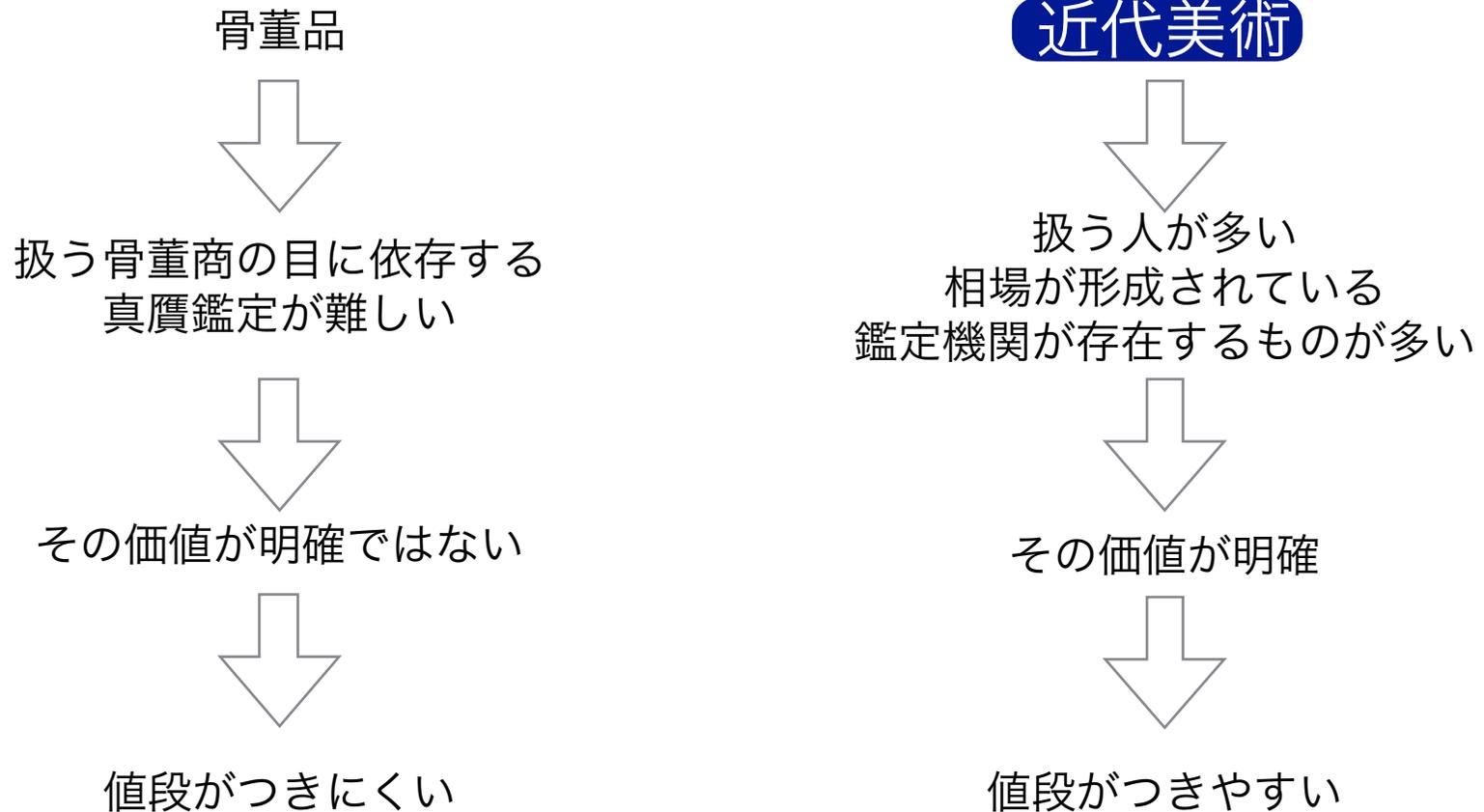
**SHINWA ART AUCTION**  
**誰もが納得**する売買

オークション会場に買い手が集まり、オークショニアが競りを取り仕切り、購入希望者はパドル（番号札）を上げ、価格が形成されていく。オークショニアがハンマーを叩き落札価格（ハンマープライス）と落札者が決定。

**世界2大オークションハウス（クリスティーズやサザビース）と同じビジネスモデル**

特徴 ② 日本の **近代美術** に強みと責任

**近代美術** とは、20世紀美術



特徴 ③ 上場している唯一のオークション企業

上場企業 = 信用力

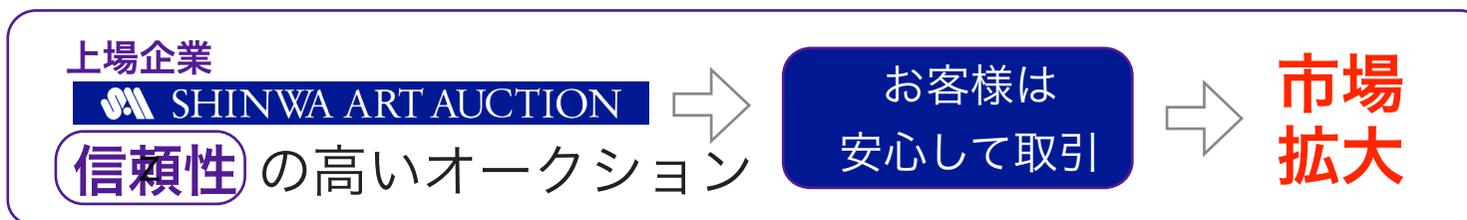
常に 信用 を重んじるオークション市場

企業理念 公明正大かつ 信用 あるオークション市場の創造と拡大

上場企業シンワが公正で透明性の高い  
オークションシステムの導入を実現

成功 高額商品のパブリックな市場での取引 社会的認知

使命 更なる市場拡大と充実



強み

3つの **No.1**

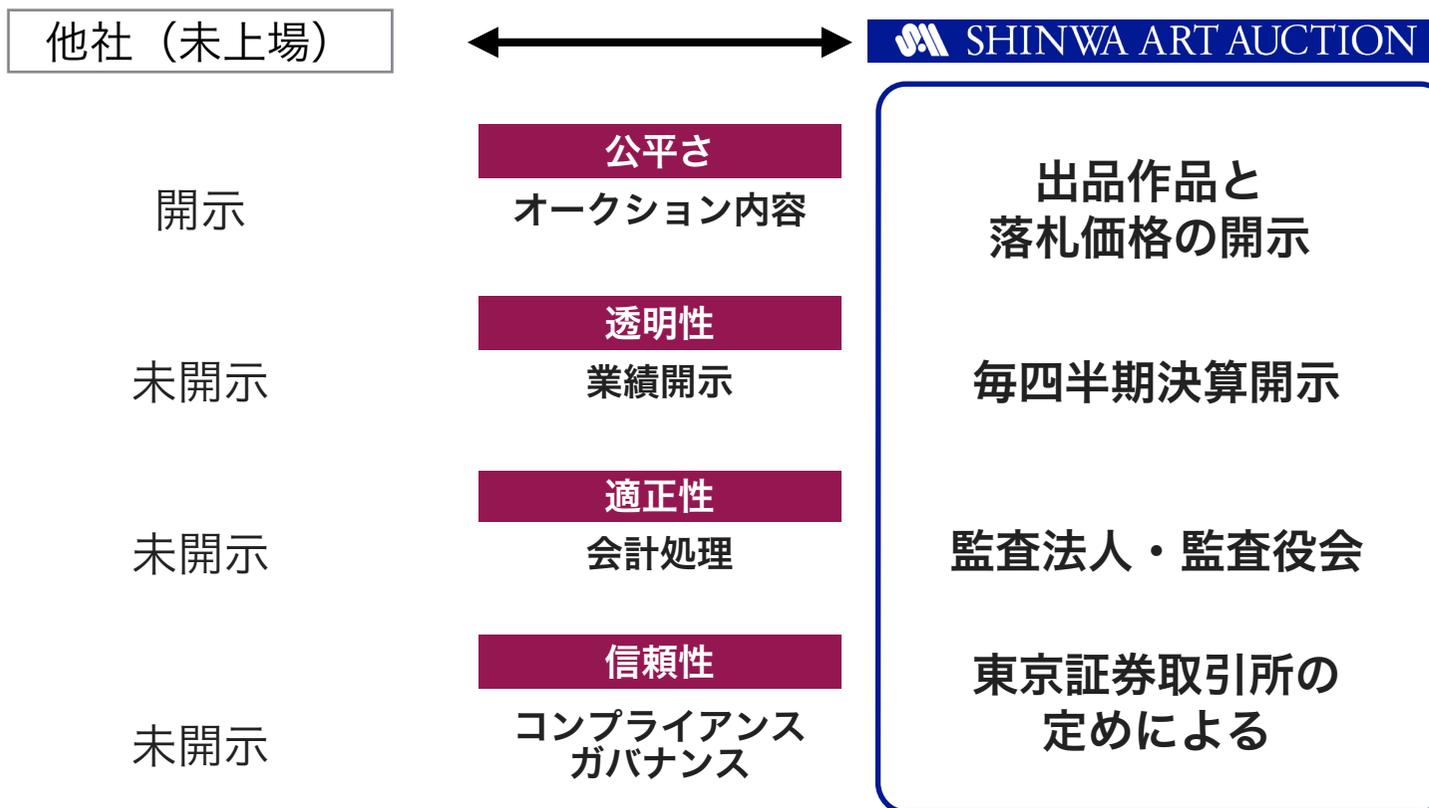
信頼度No.1

市場シェアNo.1

目利き力No.1

強み ① 信頼度No.1

日本で唯一の上場オークション企業

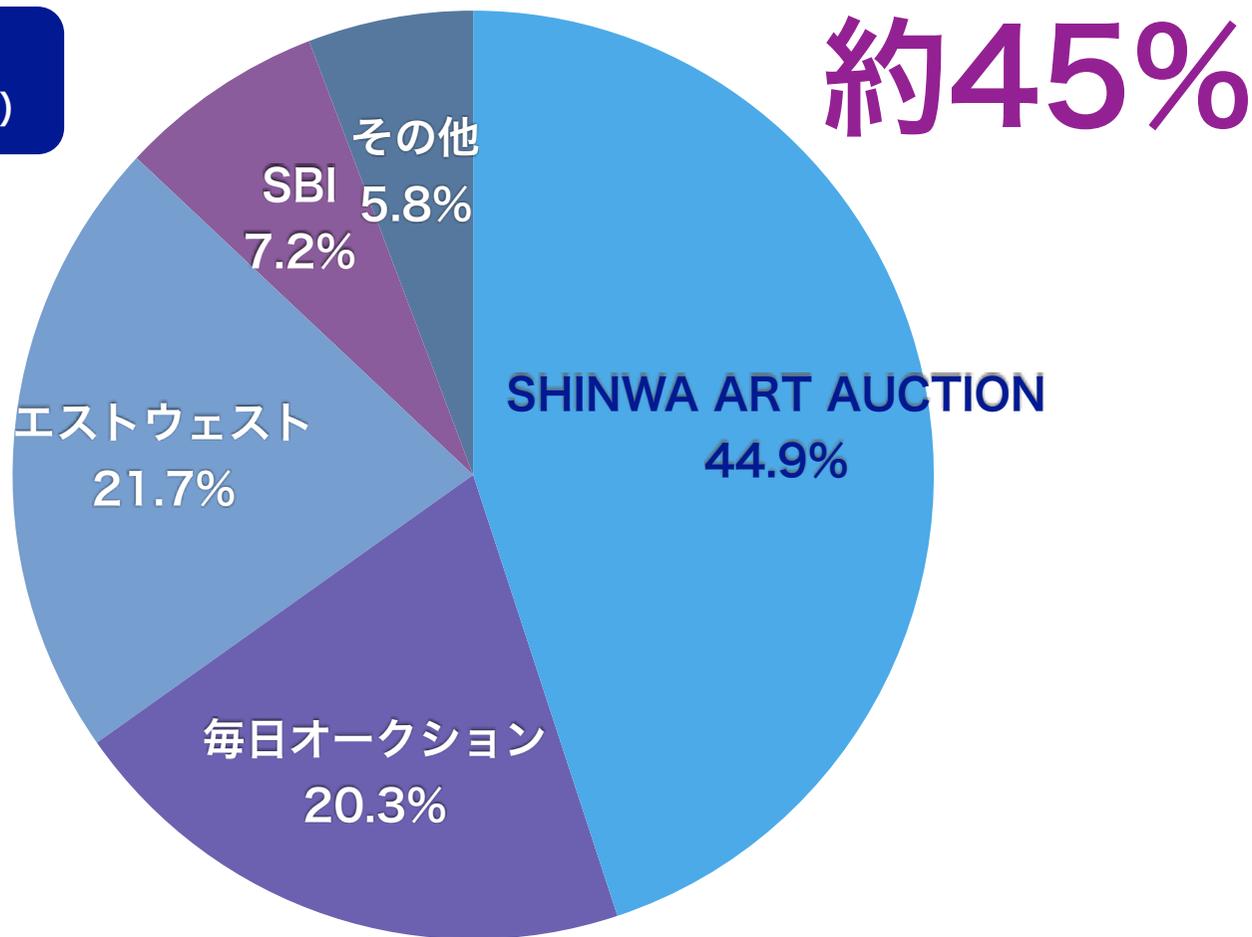


強み ② 市場シェアNo.1

高級品、高額品オークション シェアNo1

市場シェア

高額落札作品  
(2,000万円以上)



\* 暦年 (2014) 「月刊美術」 2015年3月号より

強み ③

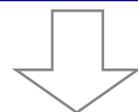
## 目利き力No.1

**近代美術** に圧倒的に強い  
高額品

なぜ？

近代美術に精通・熟知している専門性  
(鑑識眼) の高いエキスパートが複数名在籍

目利き力



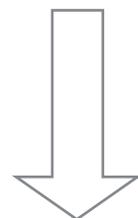
的確な  
評価

よって

オークションへ出品を希望する作品の  
査定が適切にできる

つまり

**高級品の選定が可能**



ブラン  
ディング

だから

**「高級品ならシンワ」**

高級・高額美術品  
オークションNo1ブランド

## オークションの種類

年間約30回開催

出品数：約7,000点/年

参加人数：約5,000人/年

オークション名	年間回数	内容
近代美術	6回	近代日本画・日本洋画・彫刻・外国絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね20万円以上の作品（平均落札価格：約355万円）
近代陶芸	4回	近代陶芸・茶道具・漆芸・金工・古美術など、落札予想価格の下限金額が概ね10万円以上の作品（平均落札価格：約29万円）
近代美術 PartII	6回	版画・日本画・洋画・陶芸など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品（平均落札価格：約14万円）
西洋美術	不定期	西洋ガラス工芸・西洋磁器・西洋家具・西洋絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね5万円以上の作品（平均落札価格：約21万円）
Bags / Jewellery & Watches	不定期	ブランド雑貨・時計宝飾品など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品
ワイン	不定期	高級ワイン
特別オークション	不定期	プライベートコレクションなど

4

中期経営計画進捗状況

# 中期経営計画進捗状況

アベノミクス追い風、デフレ脱却へ

25期 2013年6月～

収益拡大、成長軌道初年度

中期経営計画始動  
新規事業収益化

- ・オークションプラットフォーム拡大開始
- ・積極的な資金調達

2014年5月期決算

売上：13.2億円  
経常：1.22億円

追い風続く

26期 2014年6月～

実質的な連結収益力拡大

オークション好調  
太陽光貢献

- ・美術品プラットフォーム拡大
- ・太陽光発電施設建設ラッシュ

2015年5月期決算

売上：29.4億円  
経常：0.52億円

今期  
27期

上期  
2015年6月～

連結収益拡大へ

アート市場活況  
太陽光収穫期

- ・医療ツーリズム開始
- ・メディコ収益化へ
- ・新たな安定事業の模索

2015年12月



折り返し  
地点

今期  
27期

下期  
2015年12月～

連結収益拡大へ

2016年5月期決算（予想）

売上：32.9億円  
経常：2.47億円

29期

2017年6月～

ゴール

2018年5月

28期

2016年6月～

5

グループ事業戦略

## グループ事業戦略

(キーワード)

**アート** から始まる  
**富裕層** 向け

プラットフォームの構築  
総合サービスカンパニーへ

## グループ事業戦略の根幹

### 日本近代美術再生プロジェクト

日本の美術プラットフォーム拡大へ

### 富裕層ネットワークを生かす

27年間培った富裕層ネットワークを事業展開  
戦略子会社により富裕層関連事業へ積極展開

なぜ

# 日本近代美術再生プロジェクト

なのか

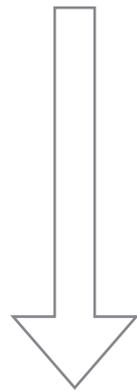
質がいいのに安すぎる

質の高い日本美術 世界の頂点の質

追い風 アベノミクスによる底値からの脱出

日本美術の再評価 歴史に残る近代美術

日本人としての使命感 日本のアートは日本人が語り継ぐ



施策

資本力・経験・ネットワークで日本近代美術を再生  
日本に安定的な美術市場のプラットフォームを創る  
オークション事業の収益力強化

日本近代美術の盟主として、日本近代美術の価値付け、向上、維持に責任を持つ  
年間市場規模 最低1000億円を達成するために注力  
プライベートセールなどで収益を高めつつ、日本近代美術市場を下支えする  
芸術的価値及び経済的価値の向上に寄与する啓蒙活動を継続する

# 10年後の近代美術プラットフォーム

10倍

2023年

日本美術オークション市場

1500億円

純資産：150億円

経常利益：50億円

2015年

日本美術オークション市場

150億円

純資産：16億円

# グループ体系図



子会社



SHiNWA MediCo

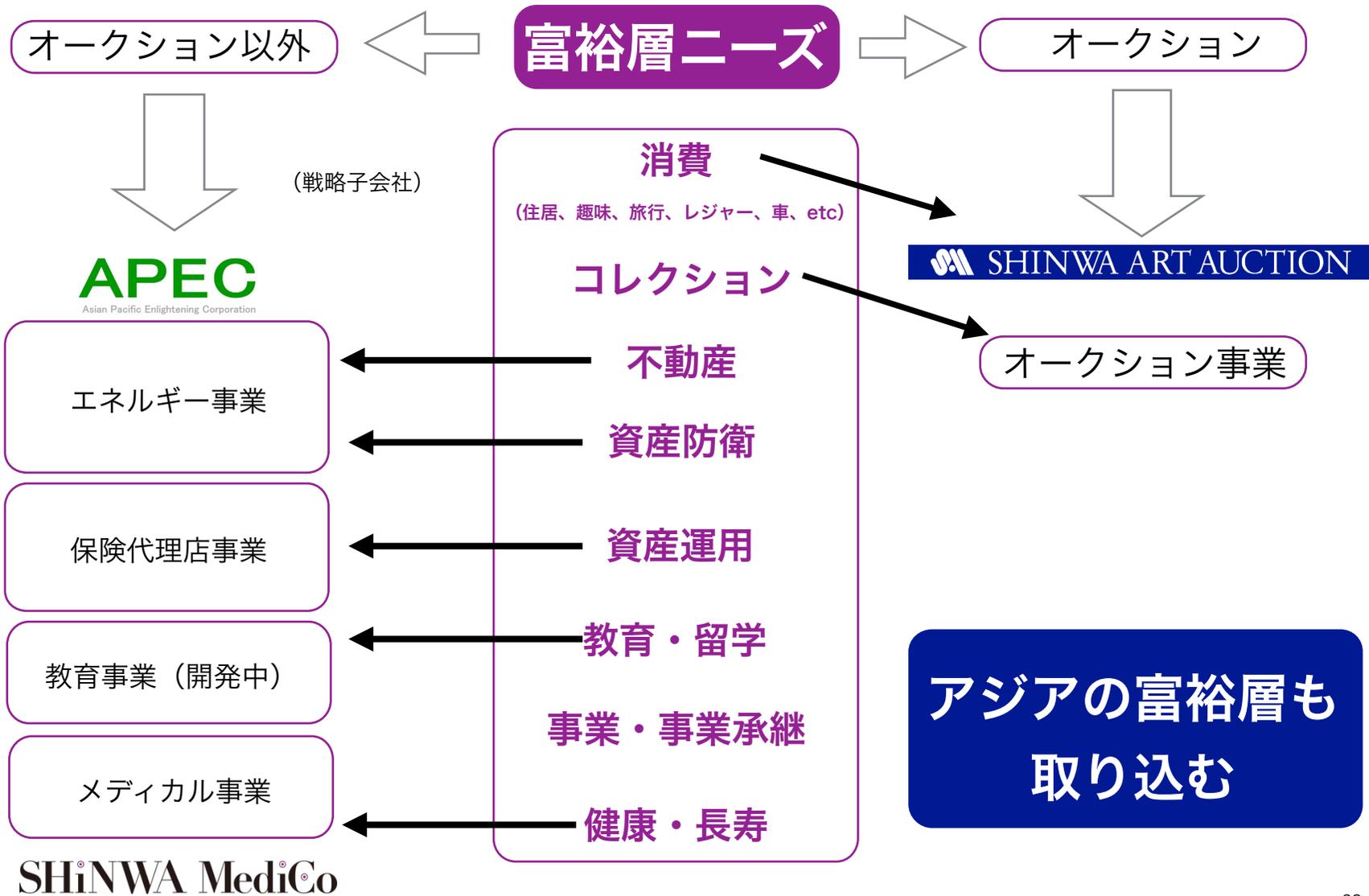
シンワメディコ

準備中

準備中

準備中

# オークションから派生する富裕層ビジネスへのプロセス



**太陽光発電システム分譲予約販売中  
～ 生産性向上設備投資促進税制を活用 ～**



**今期分譲予定戸数 50kW換算で74基以上**

**分譲実績**

(2016年5月期2Q)

50kW級低圧型太陽光発電施設：**34基**

(2015年5月期)

50kW級低圧型太陽光発電施設：**64基**

500kW級高圧型太陽光発電施設：**1基**

**分譲販売予定地**

宮崎県 - (約150kW) 三重県 - (約1MW)

栃木県 - (約150kW)

その他、多くの物件を分譲販売予定

**売却済**

**穂北太陽光発電所 (宮崎県西都市) 約1MW (993.6kW)**

**50kW級低圧型太陽光発電施設**

【標準的スペック (1基当たり)】容量 約50kW (50kW未満)

【固定売電収入受益期間】20年

【機材】国産もしくは質の高い外国製

【総敷地面積】約200坪 (所有権もしくは地上権)

【平均年間売電収入】約200万円

【分譲販売価格】2,300万円～2,800万円

**20年間の固定買取制度**

平成24年からスタートした固定価格買取制度により、10kW以上の太陽光発電システムについては、発電した電力を、電力会社に、20年間、固定価格にて売却することができるようになりました。

**生産性向上設備投資促進税制**

即時償却または税額控除5%

【適用期間】平成28年3月末日まで

特別償却または税額控除4%

【適用期間】平成29年3月末日まで

**銀行融資・リースの活用**

20年間の安定した電力収入を背景に、国産機材を利用した設備に関して、銀行融資やリースを活用することが可能となり、キャッシュアウトを抑え、より少ない資金で高い収益を得られるようになりました。

**(売電事業)**

**鹿野太陽光発電所 (兵庫県西脇市) 稼働中 (800kW)**

20年間電力固定価格買取制度 (36円 / kWh) を利用し、2015年3月より関西電力に売電開始

【診療報酬債権ファクタリング事業を凍結】

2013年6月、初の診療報酬債権ファクタリング契約を締結するも、資金調達の遅れにより、ファイナンススキームが確立するまでの間、一旦、同事業を凍結

医療ツーリズムに集中・特化



6

2016年5月期  
通期業績見込

**上方修正**  
**2016年5月期（見込）**

	2015年5月期 実績	2016年5月期 見込		
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	2,948	<b>3,297</b>	349	11.8%
売上高 オークション関連事業	1,140	<b>1,213</b>	73	6.4%
売上高 エネルギー関連事業	1,807	<b>2,075</b>	267	14.8%
営業利益	77	<b>263</b>	185	<b>238.3%</b>
セグメント利益 オークション関連事業	5	<b>72</b>	66	1,181.1%
セグメント利益 エネルギー関連事業	75	<b>189</b>	114	152.2%
経常利益	52	<b>247</b>	194	<b>369.3%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	16	<b>160</b>	143	<b>878.7%</b>

## 海外再保険会社設立

設立：子会社エーペックの子会社 APEC Reinsurance Co., Ltd.

事業内容：セル・キャプティブ事業

セル・キャプティブは  
エーペックが自社保有する太陽光発電施設運営にかかる保険の他、  
エーペックが付保する保険を国内の損害保険会社を通じて再保険として専門  
的に引き受け、自家保有するとともに再々保険として再保険市場に手配。

事業概要：エーペックは、当社グループの顧客企業等に対して、海外でのセル・  
キャプティブ設立及び保険商品を通じてのより効率的な事業運営を提案。  
日本の元受保険会社の提供する保険商品の販売代理店として、保険商品の販売  
を開始。

自社においても米国ハワイ州のセル・キャプティブの仕組みを利用。

お問い合わせ先

シンワアートオークション株式会社

経理部

03-3569-0030

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。